

定期作況報告

令和2年9月
(9月20日現在)



道総研

北見農業試験場

1. 気象経過

8月下旬：最高気温は平年より極めて高く、最低気温はやや低く、平均気温はやや高かった。降水量は平年よりやや少なく（平年比69%）、日照時間は平年より多かった（平年比141%）。

9月上旬：最高気温、最低気温、平均気温とも平年より極めて高かった。降水量は平年より少なく（平年比29%）、日照時間はやや多かった（平年比136%）。

9月中旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温はやや高く、平均気温は平年並であった。降水量、日照時間も平年よりやや少なかった（各々、平年比71%、75%）。

以上のことから、この1か月間（8月下旬～9月中旬）は、気温は平年よりやや高く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

気 象 表

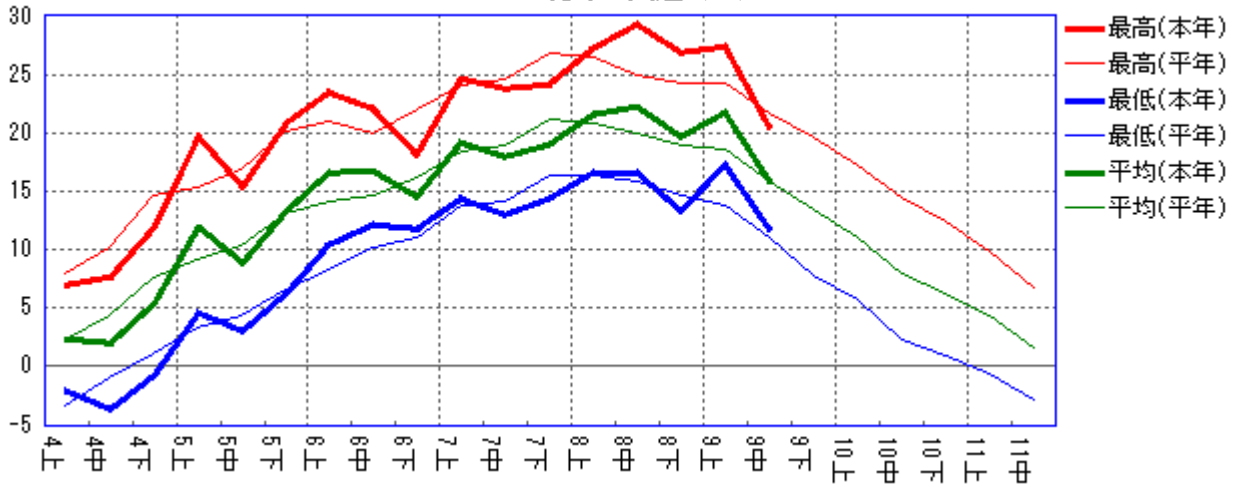
月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
8月 下旬	19.7	18.9	0.8	26.8	24.2	2.6	13.3	14.7	-1.4
9月 上旬	21.8	18.6	3.2	27.4	24.3	3.1	17.2	13.8	3.4
9月 中旬	15.9	15.9	0.0	20.5	21.6	-1.1	11.8	11.1	0.7

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
8月 下旬	39.5	57.2	-17.7	64.4	45.7	18.7
9月 上旬	16.0	54.6	-38.6	67.4	49.6	17.8
9月 中旬	26.5	37.4	-10.9	36.7	48.7	-12.0

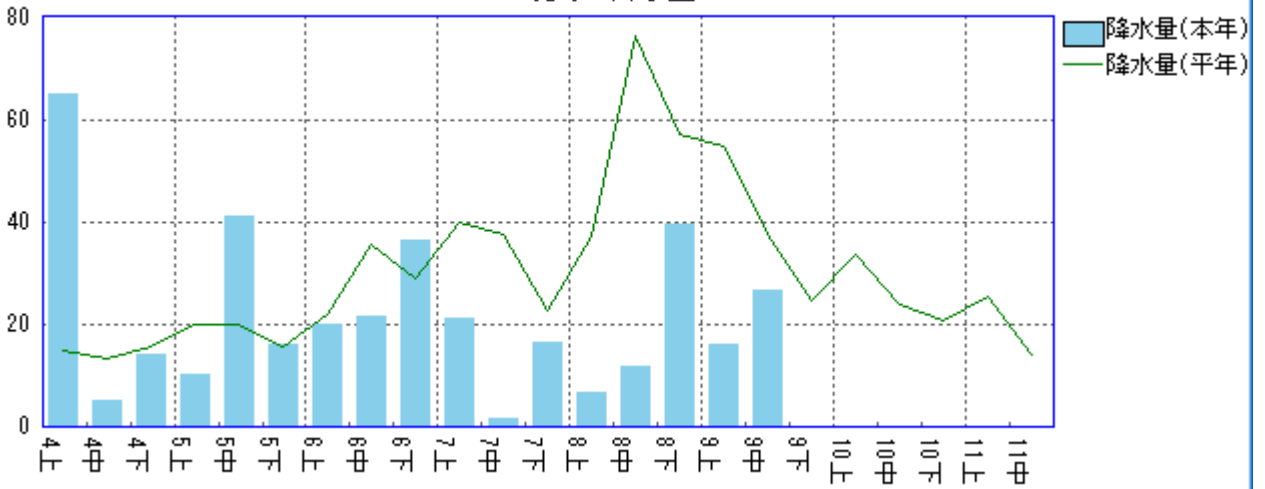
注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。

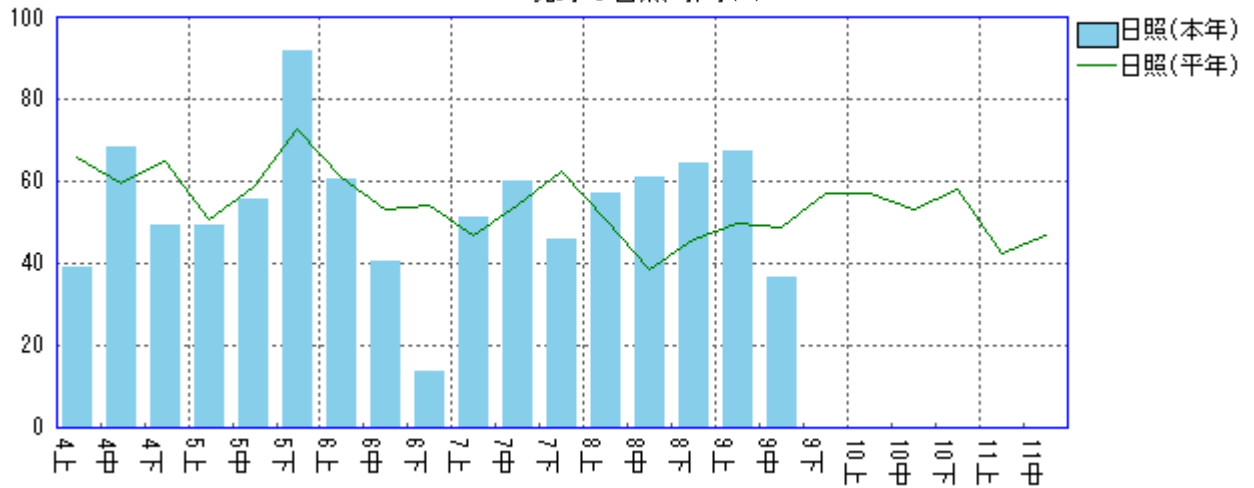
境野の気温 (°C)



境野の降水量 (mm)



境野の日照時間(h)



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 春まき小麦 作 況：不良

事 由：登熟期間は平年並だったが、7月21日の降雨によって両品種とも倒伏程度は多以上であった（前報）。このため、子実重は平年比89～91%で低収となった。リットル重は平年を下回り、千粒重は平年並からやや下回った。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
子実重(kg/10a)	484	529	△ 45	454	509	△ 55
同上平年比(%)	91	100	△ 9	89	100	△ 11
リットル重(g)	773	805	△ 32	768	798	△ 30
千粒重(g)	40.2	39.3	0.9	39.4	40.9	△ 1.5

注) 平年値は前7か年中、27年(最豊)、平成29年(最凶)を除く5か年の平均。

2) とうもろこし(サイレージ用) 作 況：平年並

事 由：9月20日の稈長は平年を9cm上回った。抽糸期の8月上旬以降平均気温は平年並から高く推移し、登熟は平年並に進んでいると推測される。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
稈長(cm) (9月20日)	263	254	9

注) 平年値は前7か年中、平成29年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

3) 大豆

作 況：やや良

事 由：平年と比較して主茎長と分枝数は同等、主茎節数は少なく、着莢数は多い。莢の登熟は概ね順調に進行しており、成熟期は平年並からやや早まると推定される。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)		9.26	—
主茎長(cm) (9月20日)	65.5	65.0	0.5
主茎節数(節) (9月20日)	9.5	10.6	△1.1
分枝数(本/株) (9月20日)	5.1	5.1	0.0
着莢数(莢/株) (9月20日)	81.2	69.0	12.2

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

4) 小豆

作 況：平年並

事 由：8月からの高温少雨傾向により、主茎長の伸長と、開花、着莢が早い時期に停止し、莢の登熟が急激に進んだことから、成熟期は平年より20日以上早まった。主茎長、主茎節数はともに平年を下回り、分枝数は平年より多かった。着莢数は「サホロショウズ」は平年を上回ったが、「エリモショウズ」は平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ			きたろまん(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.8	9.28	△20	9.8	10.4	△26	9.6	9.30	△24
主茎長(cm) (9月20日)	68	74.8	△6.8	61.6	66.1	△4.5	58.8	70.2	△11.4
主茎節数(節) (9月20日)	12.4	13.3	△0.9	12.9	13.7	△0.8	11.7	13	△1.3
分枝数(本/株) (9月20日)	5.6	3.4	2.2	6.8	3.5	3.3	5.0	4.1	0.9
着莢数(莢/株) (9月20日)	57.5	51.5	6.0	52.6	53.1	△0.5	49.2	49.6	△0.4

注1) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

ただし、きたろまん(参考)は、前6か年(平成26～令和元年)の平均。

5) 菜豆

作況：やや良

事由：成熟期は平年より10日早い8月24日であった。成熟期における草丈は平年を上回り、分枝数は平年並、主茎節数と着莢数はやや多かった。一莢内粒数は平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	8.24	9.3	△10
草丈(cm) (成熟期)	46.3	40.0	6.3
主茎節数(節) (成熟期)	5.8	5.4	0.4
分枝数(本/株) (成熟期)	5.3	5.1	0.2
着莢数(莢/株) (成熟期)	21.3	20.1	1.2
一莢内粒数	2.76	2.75	0.01

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

6) ばれいしょ

作況：やや良

事由：「男爵薯」では、枯ちょう期が平年より1日遅い9月1日であった。でん粉価は平年より低かったが、上いも重は平年を大きく上回った。前報に引き続き、中心空洞が散見された。「コナユタカ」では、上いも重は平年より重く、でん粉価はやや低く、でん粉重は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	男爵薯			コナユタカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月.日)	9.1	8.31	1		10.16	
上いも重 (kg/10a) (9月20日)	5182	4604	578	5954	5745	209
でん粉価(%) (9月20日)	14.1	15.6	△ 1.5	20.3	21.0	△ 0.7
でん粉重 (kg/10a) (9月20日)	—	—	—	1147	1153	△ 6

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

7) てんさい

作 況：平年並

事 由：8月下旬～9月中旬にかけての降水量は、平年より少ないものの、適度な降雨があり、気温および日照時間も十分であったため、生育は順調に進んだ。生葉数、茎葉重は平年をやや下回っているが、他の項目では、平年並からやや上回っている。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	リッカ			アマホマレ			リッカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (9月20日)	64.9	60.1	4.8	63.9	60.3	3.6	67.4	62.6	4.8
生葉数 (枚) (9月20日)	23.0	25.8	△2.8	27.7	28.9	△1.2	23.5	23.5	0.0
茎葉重 (g/個体) (9月20日)	613	715	△102	802	847	△45	731	738	△7
根重 (g/個体) (9月20日)	1092	1073	19	1116	1037	79	937	890	47
根周(cm) (9月20日)	34.9	36.5	△1.6	36.3	38.0	△1.7	34.7	32.9	1.8
根中糖分 (%) (9月20日)	16.39	16.10	0.29	16.81	16.60	0.21	16.57	15.80	0.77

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

8) 牧 草 (チモシー)

作 況：やや不良

事 由：1、2番草の合計乾物収量は平年比97%と平年並であり(前報)、3番草再生時(2番草刈取後25日目：8月31日)の草丈は平年より15cm低かった。2番草刈取後は9月上旬まで高温に経過し、降水量が平年より少なかったことから、3番草の生育は停滞しているものと推察される。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	なつちから		
	本年	平年	比較
草丈(cm) 3番草再生時	26	41	△15

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、令和元年(最凶)を除く5か年の平均。